

【出雲市】
校務 DX 計画

・FAX・押印の原則廃止への取組

すでに導入済みのグループウェアの利活用を促進する他、現在実施しているネットワーク分離を解消し、オンライン上での資料のやり取りをより円滑に行えるようにします。

また、学校及び教育委員会の申請手続や資料のやり取りにおいても、オンライン化を促進することで、学校間及び学校・教育委員会間のペーパーレス化を徹底し、FAX や押印の原則廃止に取り組みます。

・不合理な手入力作業の削減

現在、校務に関する情報と学習データは、ネットワーク分離によって連携が難しい場合があります。今後、ネットワーク分離を解消することによって、学習データと校務データの連携を促進し、手入力やデータ連携に係る職員の手間を削減することを目指します。

・クラウド環境を活用した校務 DX の徹底

島根県 GIGA スクール構想推進協議会のクラウド環境統一部会において、今後検討される県内教育委員会共有のクラウド環境構築に参加し、安全なクラウド環境を活用することで、学校内外での校務におけるデータの連携・共有・利活用を促進することを目指します。

また、クラウド上に会議資料や研修資料などを掲載し、いつでも参照できる環境を構築し、情報のやり取りを円滑にします。

・次世代の校務システムの導入に向けた検討

島根県 GIGA スクール構想推進協議会の校務情報化部会において、今後検討される校務システムの導入に参加し、県内統一の校務システムを導入することで教職員の働き方改革を推進します。

また、指導者用端末について、校務系と学習系の2in1にすることにより、校務と学習データの連携をより円滑に行えるようにします。